

新春を笑って迎えようと1月3日(日)、駅ナカにぎわい空間で「新春初笑い市」が行われました。開会では小野町長が「明けましておめでとうございます。今年も皆さんと一緒に賑やかに、活気ある町づくりに取り組んでいきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。今日は様々な催し物を用意していますので楽しんでください」とあいさつしました。

年始めの芸能発表は花柳穂紀桜会のみなさんが務め、新春の舞を披露しました。続いて、中里三味線会や横笛愛好会の演奏、健康ダンス「べえ子ちゃん」新春スペシャルショーが行われました。

また、町イメージキャラクターの米ケルJr.も応援に駆け付け、得意のダンスを披露し会場を盛り上げました。また、特産品の販売や餅つき体験とけの汁の振る舞い、最後は大抽選会が行われ楽しみました。



様々な芸能発表

大盛況の振る舞い

ヨイショ！ヨイショ！

会場を盛り上げる米ケルJr.

## コンテスト優勝目指して

小泊少年少女発明クラブの  
ロボットづくり

県内小中学生に「科学する楽しさ」を伝え、県内の科学教育の充実を目的に行われる青森県・げんねんジュニアロボットコンテスト。今年も2月13日(土)六ヶ所村で開催されます。

コンテストには、県内12の少年少女発明クラブが参加します。このうち当町からは、小泊少年少女発明クラブ15人が出場します。

同クラブは、10月からロボットづくりに着手し、初級は「ロボコップ相撲」、中級は「オーバー・ヒル・アタック」、上級は「ボール・オン・タワーⅡ」の各部門に出場するためのロボットを製作しました。

1月23日(土)は、日本海漁火センターでコンテストに向けて練習を行っていました。上級に出場する長谷川美侑さんは「去年はロボコン大賞を取ったが、優勝できず悔しかった。今年は優勝とロボコン大賞どちらも取りたい」と話していました。コンテスト本番の様子はテレビで放送される予定です。



ロボット作り



上級の練習



初級の練習



中級の練習



上級のロボット



中級のロボット

